

自分を鍛えてみる！

万代 栄嗣



9 月末から開催されていた愛媛国体が、大きな盛り上がりの内に、去る10月10日に閉幕を迎えました。地元愛媛県の成績は、冬季大会を合わせた男女総合の成績を競う天皇杯で、東京に次ぐ僅差の2位。女子だけの皇后杯も、やはり東京に次いで2位。天皇杯獲得を目標に掲げての挑戦でしたので、ちょっぴり残念な結果になりました。開催県が総合優勝を逃すのは、1964年の新潟国体以降、2002年の高知、16年の岩手に続き3例目とのことですが、ここ数年の天皇杯獲得県の点数と比べると2014年の長崎、15年の和歌山を越える得点だったそうです。しかし、2020年にオリンピックを控え、強化に余力がなく、分厚い選手層を誇る東京に優勝を阻まれてしまったということ。

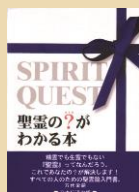
それでも、人口144万人ほどの過疎地を多く抱えた地方の県としては、大健闘！といったところでしょう。15年以上前に愛媛だけの単独開催が決定し、それから徐々に選手の育成、強化を図ってきた訳ですが、それまでは全国で30~40位台が定位置であったことを思えば、大躍進そのもの。個人競技などでは、いわゆる“助っ人”的な選手たちもいたとは言え、ジュニアの世代からの強化が実を結び、高校生たちは大活躍でしたし、成人、社会人の競技力もぐんと伸びた感じです。正直に言うと、来年以降、国体が終わったからと言って、急に先細りしてほしくないな、という感じです。

スポーツの弱小県でも、その気になれば、人口1000万人の東京にも肉薄できる、ということ。いつも一生懸命に練習しているはずのスポーツ選手たちですが、オリンピックを目指す人たちだけでなく、すぐその高校や住宅地の隣のグラウンドで練習している若者たちも、“伸びしろ”はまだいっぱいある、ということです。おそらく、それはスポーツだけでなく、勉強や、芸術などの世界でも、そうなのだと思います。

そして、当然、クリスチャンの私たち一人一人にも、何歳であろうと、霊的成長の可能性は山ほど残っています。私にも、あなたにも、信仰の“伸びしろ”はいくらでも残されているのです。将来、人生のどこかで大ピンチを迎えて、慌てて信仰の成長を求め、というのではなく、今というチャンスを逃さず、もっと自分を鍛えてみませんか？“実りの秋”を迎えています。単に自然界だけでなく、自分自身の歩みにおいて、本当に成長し実を結ぶことのできる自分へと飛躍したいと思います。自分はこの程度だと変な妥協で人生を終わらせず、もっとチャレンジしましょう。信仰や霊的な面での成長に、ぜひ挑戦してみましょう。

recommend おすすめ情報

おすすめ



はてな 聖霊の？がわかる本

■万代栄嗣著
ウィズダム出版(1200円)
聖霊について分かりやすく解説。
また、聖霊がどのように働かれるかが、具体的に理解できます。

プレゼント



聖歌コレクション vol.1

— かいぬしなるまよ —

■まんだいえいじ：歌
日比野則彦&AYAKI：演奏
GEMImpact (1200円)

日本語での聖歌を初収録。味わい深い聖歌の世界をJAZZYな極上のサウンドでお届けします。全7曲